

2022年「第3回 高齢化に関する世界会議」を日本に招致しよう

2020年の「第32回 東京オリンピック」とともに

第1回（1982年・ウイーン）、第2回（2002年・マドリード）に次ぐ「第3回 高齢化に関する世界会議」（2022年・World Assembly on Aging）を日本へ招致し開催しよう。2020年には「第32回東京オリンピック」（The Games of the XXXII Olympiad）が開催されるが、若者の祭典につづいて国際的課題として「地球丸ごと高齢化」を取り上げ、各国の専門家、政府関係者、経済人、報道人、NGOを、高齢化のトップランナーである日本に招致し、21世紀の潮流であり最大の課題である「高齢社会」への対処方針を打ち出し、日本高齢者の経験と知識による国際的貢献をめざす。

会場はアクセス、施設の利便性、温暖で恵まれた自然環境、これまでの活動（後注：房総長寿社会憲章）などを考慮して首都圏の千葉県を候補地とする。世界のリーダーを房総半島に招き、すべての世代が参加する「長寿社会と世界平和」の見取り図を示すことは、平和国家・長寿社会のリーダーとしてのわが国の責務であり、誇りうる歴史的事業である。

会議は「高齢者に関する国連五原則」にうたわれた自立、参加、ケア、自己実現、尊厳の精神を基調に、世代間・民族間・男女間の協調社会を実現する鍵として「人類の平和的共存への道」をうたい上げる合意をめざすものとなる。

会議名

I 第3回「高齢化に関する世界会議」（World Assembly on Aging、WAA）

- ・ 中心議題を「高齢化と社会経済の革新」とし開催地を日本とする
- ・ 各国に「行計画2002の実施状況の点検とロードマップの策定」を要請
- ・ 各国に「高齢化課題解決に取り組むグローバル人材の育成と国際交流」を奨励
- ・ 各国に「先進的な取組事例に関する情報・リソースセンターの設置」を奨励
- ・ 上記を含む行動計画2002のフォローアップのための第3回WAAの開催

検討課題（同時開催）

II 「世界高齢者会議」—人類平和共存への道—

元大統領・首相、経営者、宗教家、教育者、科学者、作家・・・
国際的高齢者リーダーを招へいする。30人ほど。

この会議は3～5年に一度、日本開催をつづけてもよい。

III 「世界高齢社会活動者会議」—すべての世代のために—

NGOなど高齢社会活動の実践者が地域の成果を語り合う。

後注：

房総長寿社会憲章

長寿の時代を迎え、生涯にわたって生きがいとやすらぎのある人生をおくることは、私たち県民すべての願いです。

豊かな長寿社会を築くためには、一人ひとりが人間として尊ばれるとともに、家庭や地域社会でそれぞれの役割を担い、ともにいつくしみ、愛情あふれる社会を実現していくことが必要です。

私たちのふるさと房総の地は、温暖な気候、青い海そして豊かな緑に囲まれ、長寿のための自然環境に恵まれています。

さらに社会環境も着々と整い、空と海とを通じ世界に、そして輝かしい未来に向かい大きく飛躍しようとしています。

私たちは、ここに、豊かで、いきいきと活力ある長寿社会を築くことをめざして、房総長寿社会憲章を定めます。

1. 房総の青い海と豊かな緑のもと、こころとからだを健やかにし、県民の総和による長寿のふるさとづくりに参加しよう
2. お互いの知識や経験をいかし、よりよい社会づくりに努めよう
3. 生涯にわたって自らの可能性を高め、生きがいあふれる暮らしを創造しよう
4. 風土のかおりを大切に、人と自然とが調和したうるおいとやすらぎのあるふるさとをつくろう
5. 家族のきずなを大切に、こころの通いあう温かい家庭を築こう
6. 地域の人々とのつながりや世代間の交流を深め、ふれあいと支えあいのある地域社会をつくろう
7. 未来に向かい、国際性豊かで活力のあるふるさとをつくろう

平成4年3月31日 制定 千葉県